

なごおか Photo ウオッシュ ング



▶木山捷平文学の継承を

3月13日、笠岡グランドホテルにおいて「第九回笠岡市文学賞」贈呈式が行われました。

市民の詩賞最優秀賞に選ばれたのは三宅節夫さんの「島の踊り子」。また、今回が最後となる木山捷平文学賞には、松浦寿輝さんの短編集「あやめ 鱒 ひかがみ」が選ばれました。

なお、木山捷平文学賞は、一般公募の作品を対象とした賞として継続する予定となっています。（笠岡市文学賞の詳細は広報かさおか3月号に掲載しています）

◀国体盛り上げるモニュメント

大井地区のボランティア組織「おおし会」が、このたび晴れの国おかやま国体を盛り上げようと、北木石でできたももっちのモニュメントを寄贈してくださいました。

3月21日、おおし会メンバーの手により笠岡総合体育館に設置され、高橋卓志会長は「国体で訪れた人たちに記念写真の背景に使ってほしい」と話していました。このモニュメントは、台座部分を含めて高さ約120cm、幅約60cm、重さ約560kgで、バスケットボールをするももっちが描かれています。



▶スタンプラリーで真鍋島を堪能!

2月26日、真鍋島でスタンプラリー大会が開催されました。このスタンプラリーは昨年引き続き二回目の開催で、真鍋中学校の生徒が企画・実施したものです。

小春日和のもと、市内外から参加した30名は、午前中、真鍋島東部を中心に十カ所の観光スポットを回るスタンプラリーに挑戦。また、午後からは、会場を真鍋中学校に移し、「学べ島寺子屋」と題して、元市史編纂室の山本稔さんによる島の歴史の講義が行われました。

参加者にとっては、真鍋島の自然と歴史を堪能できる一日となりました。



◀新しい校旗の下、豊かな学校生活を

2月21日、城見小学校で新しい校旗のお披露目式が行われました。これは、44年間使用してきた校旗が古くなり、昨年6月に地元住民で組織された世話人会などが、学区内の全世帯に寄附を呼びかけ実現したものです。

この日、安藤伸子校長から世話人会代表の安藤清孝さんに感謝状が贈られ、生徒を代表して6年生の大村隆之くんが「りっぱな校旗をありがとうございます。りっぱな人になるようがんばっていきたいと思います。」と感謝の言葉を語りました。

